

令和5年度第2回北栄町社会教育委員会兼北栄町公民館運営審議会

日時 令和6年3月15日（金）  
午後1時30分～3時  
場所 大栄農村環境改善センター  
2階 大会議室

【日 程】

1 開 会

2 あいさつ

3 定足数の確認

4 議事録署名委員の指名（2人）

・委員長 三村 章雄

6 報告事項

（1）令和5年度の事業報告について

（2）令和6年度の事業計画（案）について

別冊「令和6年度 北栄町社会教育事業計画（案）」

7 協議事項

8 その他

9 閉 会

北栄町社会教育委員兼北栄町公民館運営審議会委員

委員名簿

番号	氏名	所属等	構成等
1	平井 尚	北条小学校代表	学校教育関係者
2	山下 有司	大栄中学校代表	
3	村岡 美樹	大栄小学校PTA代表	社会教育関係者
4	佐伯 勉	北条中学校PTA代表	
5	安田 千秋	町婦人会代表	
6	秋本 民夫	自治会長会代表	
7	南場 兄一	文化団体代表	家庭教育の向上に資する活動を行う者
8	三村 章雄	青少年育成関係者	
9	清水 武	公募委員	学識経験者
10	玉木 純一	公募委員	

任 期 令和4年4月1日から令和6年3月31日まで

<事務局出席者>

番号	氏名	職名	所属等	備考
1	笠見 隆志	教育長	教育委員会	
2	前田美友紀	課長	生涯学習課	
3	福庭 克展	室長	文化・スポーツ推進室	
4	米塚 浩二	室長	人権教育推進室	
5	渡辺 健二	館長	中央公民館	
6	田中 葉子	館長	図書館	
7	中江 人美	館長	北栄人権文化センター (ほくほくプラザ)	
8	永田 洋子	理事長	(特非)まちづくりネット	中央公民館 大栄分館
9	荒川 辰也	事務局長	(一財)北栄スポーツクラブ	
書記	谷口なつみ	事務補佐	生涯学習課	

款	9 教育費	項	4 社会教育費													
		目	1 社会教育総務費													
<p>①社会教育総務費事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員会兼公民館運営審議会委員会の開催 2回(6月・3月)</li> <li>・委員の各種研修等への参加 2回(鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会) (鳥取県社会教育関係者研修会)</li> </ul> <p>【成果】 社会教育の振興のため、社会教育事業について、意見を述べたり、事業に参画した。また、鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会及び鳥取県社会教育関係者研修会に参加し、今の時代に社会教育委員が求められることについて学ぶことにより委員の資質向上につながった。</p>																
<p>②社会教育総務関係負担金事業</p> <p>社会教育に関する協議会等の負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東伯郡社会教育協議会</li> <li>・鳥取県社会教育協議会</li> <li>・鳥取県社会教育委員連絡協議会</li> <li>・倉吉地区少年補導センター</li> </ul> <p>【成果】 関係機関との連携により社会教育振興につながった。</p>																
<p>③青少年育成北栄町民会議交付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体、機関及び家庭や地域の連携により青少年の健全育成活動を行う青少年育成北栄町民会議に交付金を交付した。</li> </ul> <p>【成果】 あいさつ運動、見守りパトロール等により、地域が一体となって取り組む青少年健全育成につながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動推進事業所 101事業所</li> </ul>																
<p>④社会教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・届ける学びを目的に「生涯学習出前講座」を実施し、地域住民を対象に学習情報・機会の提供を図る。</li> </ul> <p>回数 年間116回 (含:おとなほくえい塾37回、認知症予防セットメニュー34回、貸出DVD7回)</p> <p>会場 各自治会公民館等</p> <p>参加者 延べ1,548人 (含:おとなほくえい塾306人、認知症予防セットメニュー587人、貸出DVD73人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>67回</td> <td>87回</td> <td>116回</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>1,003人</td> <td>1,300人</td> <td>1,548</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、自治会やいきいきサロンをはじめとする各種団体の活動が活発になったことに伴い申し込みが増加した。内容に対する満足度も高く、住民のニーズにあった講座を提供することができた。</p>					年度	R3	R4	R5	回数	67回	87回	116回	参加者	1,003人	1,300人	1,548
年度	R3	R4	R5													
回数	67回	87回	116回													
参加者	1,003人	1,300人	1,548													
<p>⑤社会教育関係団体活動費補助金事業</p> <p>社会教育関係団体の活動に対し補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町婦人会(130,000円) ・北条中学校PTA(18,000円) ・大栄小学校PTA(15,000円)</li> <li>・大誠こども園PTA(10,000円) ・大谷こども園(5,000円) ・北条こども園(20,000円)</li> <li>・青少年育成町民会議(432,900円)</li> </ul> <p>【成果】 各団体が自主的に企画立案する活動や町行事、園行事、地域行事等に協力し参加する活動、研修会などへ補助し、会員等の資質向上につながった。</p>																

## ⑥学校・家庭・地域連携協力推進事業

- ・放課後子供教室推進事業「子どもほくえい塾」(国・県・町それぞれ1/3負担)  
放課後や休日を活用した子どもたちの体験活動を、地域住民の協力で実施した。
- ※平成21年度より、NPO法人まちづくりネットへ事業実施を委託。

年度	R3	R4	R5
回数	114回	106回	97回
参加者	1,140人	1,913人	1,042人
ボランティア・保護者	540人	724人	460人

※R6年2月3日現在

- ・放課後子ども総合プラン運営委員会の開催 2回  
放課後子ども総合プランに基づき、放課後子供教室、放課後児童クラブ、両事業の効率的な運営・実施を図るため運営委員会を開催した。

【成果】 放課後子供教室では、多くの地域の方々に協力を得て、子どもたちが地域で過ごす土日や放課後に様々な活動が実施できた。また、放課後子ども総合プラン運営委員会での意見などを参考に改善に努めた。

## ⑦通学合宿事業

家庭から離れ、異なる年齢の児童との共同生活をする事により、自分の力で身の回りのことをする大変さ、がまんすることや助け合うことの大切さを体験し、家族の支えがあって生活していることに気づききっかけとなった。また、ゲーム・テレビ等メディアと離れた生活の経験から今後のメディアとのつきあい方を考えることができた。

期 日	令和5年9月6日～8日
会 場	大栄健康増進センター
参 加 者	大栄小学校5・6年生の希望者 15名(5年生 9名、6年生 6名)
ボランティア	16名(食生活改善推進委員、教育委員、社会教育委員、大学生など)

## ⑧地域副読本活用事業

・地域副読本として「まちの姿編」「歴史編」、北栄町ゆかりの偉人豊田太蔵の生涯を描いた偉人マンガを小中学生及び鳥取中央育英高校に配布し、授業での活用し、郷土に愛着を持つとともに再発見の一助とする。

【成果】 副読本が教科書の北栄版として活用されることで、子どもたちが教科書の内容を身近に感じることができる。また、自分たちの住んでいる町の歴史や町の誇れる人物を知ること、北栄町について理解を深め、ふるさとへの親しみや愛着心を育てるとともに、偉人マンガについては、将来の生き方や生活を考えるきっかけ(キャリア教育)に寄与した。

款	9 教育費
---	-------

項	4 社会教育費
---	---------

目	2 成人式費
---	--------

## ①成人式事業

社会の形成者として、良き成人となる新成人の門出を祝し、自ら生き抜こうとする意欲を促した。  
令和6年成人式

期 日	令和6年1月3日(水)
会 場	北条農村環境改善センター
内 容	式典、恩師激励及び新成人決意表明、記念品授与、記念写真撮影

対 象 者	158人
出 席 者	118人
出 席 率	74.7%



款	9 教育費	項	4 社会教育費
		目	3 公民館費

## ①中央公民館管理事業

町民が身近に感じ、いつでも「つどい」、「ふれあい」、「学ぶ」ことのできる中央公民館として、十分に機能が発揮できるよう施設の適正な管理を行った。

〔中央公民館利用実績〕 ※会議室・ロビー利用者数

	R3	R4	R5
開催日数	359日	359日	359日
利用者数※	14,511人	17,501人	18,699人



テレワークスペースと貸出用PC

- 【成果】 適切な点検、維持管理を行い、誰もが安心して気軽に集い学べる生涯学習の拠点施設として学びの場を提供し、仲間づくり、学びの推進ができた。  
新たにテレワークスペースを設け、また来館者用貸出パソコンも配置し、情報格差の解消に資する取組が出来た。  
新型コロナウイルスの5類移行により利用者は回復傾向にある。

## ②公民館運営事業

〔中央公民館運営〕

すべての町民が心豊かで健康的、文化的な生活を送るための生涯学習、文化活動の身近な拠点として効果的に施設利用ができるよう学習環境を整備し、適正な運営を行った。

〔中央公民館大栄分館管理委託〕

大栄分館の管理運営をNPO法人まちづくりネットに委託し、地域住民の参画と協働に基づき、地域に根ざした「行って元気が出る中央公民館」としての運営を行った。

・中央公民館大栄分館利用実績 ※会議室・ロビー利用者数

	R3	R4	R5
開催日数	359日	359日	359日
利用者数※	42,116人	49,545人	53,200人

- 【成果】 民間活力の活用により、すべての町民を対象に健康的、文化的な生活を送るために必要な町民の学びと地域づくり・人づくりの推進が図れた。

## ③公民館講座事業

ニーズが多様化する中、町民の生涯学習への意欲の向上を促すとともに、住民相互がつながりを深めながら仲間づくりの輪を広め、心の豊かさや健康的・文化的な生活の向上をめざし、公民館講座を行った。

〔シニアクラブ(高齢者教室)〕

おおむね60歳以上の高齢者を対象に「まなび・よろこび・仲間とともに」を合言葉に、学習講座を5月～3月に開催し、生涯学習を推進した。

学習別会員数

	R3	R4	R5
総合学習	56人	37人	39人
パソコン	11人	6人	6人
ニュースポーツ	42人	46人	45人
歌 唱	31人	22人	20人
習 字	9人	11人	10人
フラダンス	6人	4人	7人
絵てがみ	13人	8人	10人
食を考える	13人	13人	7人
絵画	7人	4人	6人



シニアクラブコース別学習  
ニュースポーツ

## 学習別参加者

内 容	R3		R4		R5		
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	
総合学習	7	延べ108	8	139	8	147	
コース別学習	9	延べ574	10	延べ514	10	延べ607	
全体学習	開講式・講演	中止	—	1	58	1	57
	ニュースポーツ交流会	1	35	1	25	1	30
	野外学習	2	33	2	25	2	47
	閉講式・講演	—	—	1	43	1	40

## 〔青少年・成人対象講座〕

青少年や成人を対象に、地域づくり・人づくり活動の推進と多様な学習を通じた地域課題の解決に資する取組として各種講座を実施した。

	R3		R4		R5	
	回	人数	回	人数	回	人数
青少年対象講座	14	368	16	299	17	347
成人対象講座	7	97	18	279	22	314

- 【成果】 予定通りの講座を開催し、青少年から高齢者までの幅広い年代に対し、仲間とともにつどい、学ぶ環境づくりを推進することができた。また、自主的な活動を促進し、ともに学ぶ仲間を広げる取り組みとなり、サークルへの移行者も増えた。
- スマホ教室について、高校生にも協力していただき昨年度の4回から8回に増加することにより、学びの機会を増やすことができ情報格差の解消に資する取組となった。



高校生によるスマホ教室

## ④北栄文芸編集・発行経費事業

町民などの幅広い年齢層において文芸に親しみ、文芸の芽を育む場として文芸誌を発刊するとともに、広く「文芸」に触れ合う場として公民館ロビーや自治会公民館、町内施設などに文芸誌を配置し町民に周知した。

〔発刊実績〕 (R5)

発刊回数	編集委員会	1回あたり発行部数
4回	4回	300部

- 【成果】 自治公民館など町内の各所に「北栄文芸」を配置することにより、北栄町内の各所で文芸に親しむ環境を広げることができた。また、文化・学術的な創作活動・生涯学習活動につながった。
- 小中高校生からの作品も多く、特に今年度は高校生からの投稿を多数いただき、文化活動のすそ野を広げる取組となった。

## ⑤展示・鑑賞・発表経費事業

## 〔第19回北栄町美術展〕

北栄町の文化・芸術活動の発展のため、美術展実行委員会を組織し、日本画、洋画、書道など13部門における文化・芸術活動者の創作活動の発表と鑑賞の機会を設け、町民の文化意識の高揚を図った。【開催日：令和5年11月3日(金・祝)～15日(水)】

出展状況 ※特別展示を除く

	R3	R4	R5
	出展点数	出展点数	出展点数
日本画	8	8	6
洋画	19	15	17
デザイン	3	1	2
書道	34	32	30
彫刻	1	0	0
版画	8	8	8
写真	18	18	18
工芸	19	15	19
ちぎり絵	10	9	9
切り絵	2	4	7
俳画	0	0	0
絵手紙	12	11	9
和紙あかり	16	12	10
計	150	133	135



美術展表彰式

## 〔公民館まつり〕

昨年度はオープニングセレモニーが大雪のために中止になるなど、懸案であった積雪のリスクのある開催時期の変更について検討した。

関係団体である公民館まつり実行委、美術展実行委、文化団体協議会において協議していただき、6～7月の開催に変更することを決定した。これに伴いR5年度の公民館まつりは不開催とした。

## 〔公民館まつり展示・発表状況〕

	R3	R4	R5
作品展	30部門320点	27部門318点	—
芸能発表会	中止	23組82人	—



## 〔ロビー展〕

町文化団体協議会加盟団体による主体的運営の定着を図るとともに、非加盟団体の展示活動や町や中央公民館事業の発表展示を行い、町民に幅広く文化・芸術活動などの観賞機会及び情報の提供を行った。

- 【成果】
- ・美術展では、文化団体との連携や文化教室参加者への啓発などにより、地域の文化・芸術活動者が出展し、日頃の取組みを発表する場となった。また、住民には、芸術・文化に触れ合う貴重な場となった。
  - ・公民館まつりでは、関係団体との協議により適切な時期に変更することが出来た。
  - ・ロビー展は、文化団体との連携により出展の充実を図り、多くの中央公民館来館者に成果を発表し創作意欲の向上を図るとともに多くの来館者へ文化・芸術に触れる機会を提供することができた。

## ⑥中央公民館大栄分館建替事業

老朽化により建替を予定している大栄分館の再整備に向けて、現在地の地質調査を行っ

【成果】 地質については図書館建設時に調査したものと同様であることが分かった。適した地盤改良について確認することができ、今後実施する設計につながる取組となった。

## ⑦成果還元活動費補助金事業

〔文化教室等成果還元活動の推進〕

文化教室等が作品や技術など日頃の活動で得た成果について町民に発表(還元)し、地域住民の文化教養の向上につながる取組に対し補助した。

	R3	R4	R5
団体数	11(団体)	15(団体)	21(団体)
延べ回数	15(回)	20(回)	26(回)



ロビー展

【成果】 幅広く町民に生きがいと喜びを提供するなど地域に成果を還元することができた。また、仲間と集い・学び・ふれあいながら親睦を深め、健康の増進や幸せな人生の生きがいとなる学びの活動に寄与した。今年も引き続き演芸関係の団体は福祉施設への慰問が実施しにくい状況であったが、大正琴教室が慰問を行うなど少しずつ発表の機会が戻りつつあった。

## ⑧町文化団体協議会補助金事業

〔文化団体協議会の活動支援〕

町民の文化的な生活や学びの推進を図るため、多種多様な文化教室活動の自主的で主体的な活動に対し支援するとともに、中央公民館事業である美術展や公民館まつりへの文化芸術作品の出品や芸能活動発表等の事業運営で連携するための活動経費の一部を補助した。

【成果】 町民の生涯学習推進と文化・芸術活動の発展に寄与した。

## ⑨ほくえい未来ラボ事業

北栄町の住民参画の新しい仕組みとして、学びと研究の場「ほくえい未来ラボ」を開催した。今年度は「協働で進めるインフラ管理のあり方」をテーマに、担い手不足により管理の行き届かなくなった水路や今後懸念されるマンパワー不足のなかでの道路管理のあり方などについて提案していただいた。

参加者:19人(町民4人、学生(鳥大生)6人、職員9人)

コーディネーター:鳥取大学工学部 長曾我部まどか准教授

全体会:第1回5/27、第2回6/24、中間発表9/23、最終発表12/10

講演会:NPO法人bankup 代表 中川玄洋 氏

「学生ボランティアから考える協働のまちづくり」 8/

【成果】 自らの調査に加え、実践者による講義、外部有識者によるアドバイスなどの学びの場を提供することができ、最終発表では客観的なデータ等に基づく納得性にある提案をいただくことができた。

また、行政課題の解決に向けた行程を通じて、人づくりに資する取組ともなった。



最終発表の様子

款	9 教育費	項	4 社会教育費	
		目	4 図書館費	

## ①図書館管理事業

図書館利用者が「いつでも、誰でも」安全に快適に利用でき、居場所となる施設として、適正に維持管理した。

【成果】 来館者が安心して利用できる環境を提供し、利用につなげることができた。

## ②図書館運営事業

図書館資料の収集、整理、保存を行い、資料相談の充実に努めた。また、講座事業や催しを実施し、住民に親しまれ暮らしに役立つ図書館として、適正に運営した。

利用実績(北条分室・雑誌・AV資料全て含む)

2月末

年度	R3	R4	R5
利用登録者数(人)	13,693	13,778	14,051
実利用者数(人)	1,809	1,708	1,813
来館者数(人)	47,642	48,557	53,075
貸出冊数	82,683	81,096	76,668
蔵書冊数	140,821	140,520	136,622
資料購入数	4,173	4,702	3,207

主な事業・行事

(図書館本館)

2月末

項目	R3		R4		R5	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
おはなし会	30回	244人	20回	151人	31回	235人
あたまイキイキ音読教室	6回	45人	4回	29人	5回	38人
出前講座	7回	76人	8回	70人	12回	139人
図書館まつり	1日	394人	—	—	—	—
「源氏物語を読む」講座	15回	180人	—	—	—	—

『特集・展示コーナー』

<特集コーナー>

【郷土】鳥取県の民芸品、鳥取の音楽、足立紳特集

【一般】自閉症、ライトノベル、ヨシタケシンスケ特集、本屋大賞、カフェがテーマの本、コウノトリキングダム、敬老の日読書のすすめ、動物愛護週間、4月～9月貸出の多かった本  
オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン、レールトイ・電車、旅と図書館、源氏物語、若い人に贈る読書の勧め2024、相続登記申請の義務化に関する特集

【児童】雨の絵本、食育の本、「星」の絵本、自由研究・工作、おばけ・こわい本、林あきこ特集

<ギャラリーゆらり>

オレンジガーデニングプロジェクト活動報告展・仕事スタイル写真展・ハンセン病問題パネル展  
感染症パネル展・鳥取写真家宮川大志初個展「挑戦」・鳥取中央育英高校作品展示等

(北条分室)

項目	R3		R4		R5	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
図書館まつり	1日	76人	—	—	—	—

【成果】 ・資料を幅広く計画的に収集し、テーマを決めた特集やパネル展示など工夫しながら活用することで、町民の多様なニーズに応えることができた。  
・各種講座・催し物で来館を促し、関連する図書資料の活用につなげることができた。

③図書館魅力化事業

地域文化や人材を掘り起こし、「地域とつながる図書館」「居心地のよい図書館」につながるような事業を展開した。

<地域とつながる図書館>

夢の図書館プロジェクト事業(読書の木・ブックリサイクル・押し本交流会・レールトイ企画等)  
「図書カフェ」出店・データベースを利用した企画

<居心地のよい図書館>

図書館コンサート・文庫本用移動書架や大きな観葉植物を設置等



公募による「図書カフェ」出店



10月28日(土) 押し本交流会



12月28日(木) レールトイ in 図書館

【成果】 昨年に引き続き、町民主体の企画を取り入れることにより、地域の方との連携が密となり、図書館事業を官民の両輪で進めることができた。また、「図書カフェ」で新たな産業(飲食店)との連携もでき、かつ利用者にも好評な企画となった。

④絵本でつながるまちづくり事業

家庭や地域で絵本が活用されるよう絵本の持つ力を発信し、「絵本で人と人がつながる町 絵本で子どもが豊かに育つ町 北栄町」としての取り組みを行った。

絵本と音楽を楽しむコンサート

出演者: 上川佳巳・宇野三佳子(ピアノ講師)

期日: 12月16日(土)

参加者: 55人



12月16日(土) 絵本と音楽を楽しむコンサート

<ブックスタート>

赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくりと心ふれあう時間を持つきっかけとなるよう、赤ちゃん一人ひとりに絵本を手渡す。

7か月健診の際、赤ちゃんと保護者に読み聞かせを行い、数種類の中から保護者が選んだ絵本1冊を贈った。

年度	R3	R4	R5
対象者(組)	95	99	74
配布数(組)	94	94	72

2月末

## &lt;マタニティ・ファーストブック&gt;

妊娠中の母親がおなかの赤ちゃんに絵本を読んで語りかけることで、母子ともに豊かな時間を過ごし、赤ちゃんの健やかな成長を育むことを目指す。

母子健康手帳発行時に絵本引換券を手渡し、出産までに図書館またはパパママ教室で引き換えてもらう。大人向けの絵本1冊と、赤ちゃんのために保護者が選んだ絵本1冊を贈った。

年度	R3	R4	R5
対象者(組)	93	80	66
配布数(組)	50	56	38

2月末

【成果】ブックスタート及びマタニティ・ファーストブックの取組をはじめ、絵本と音楽を同時に楽しめるコンサートをとおして、子どもから大人まで絵本に親しむ環境を提供し、「絵本で子どもが豊かに育つ町 北栄町」を推進することができた。

## ⑤図書館関係負担金事業

鳥取県図書館協会負担金

【成果】県立図書館や他の市町村図書館との連携、情報交換のできる場が提供され、専門研修等に参加することにより、様々な支援・情報も得られ、業務遂行の上で参考になった。協会主催の鳥取県図書館大会における当館事業の事例発表、また、県内図書館からの視察を受けることにより、当館事業等を振り返る良い機会となった。

## ⑥開館30周年記念事業

30周年を機に、図書館事業の周知や読書推進につながる事業を展開し、図書館における新規利用者の掘り起こしと、今後の利用促進を図った。

- ・読書通帳の作成・配布(1,000部)
- ・「レッツゴー図書館30」企画(30冊借りた人へ記念品贈呈)
- ・記念講演「金田一先生の日本一受けたい授業 本は優しい」講師 金田一秀穂氏
- ・映画試写会(2回)

【成果】30周年事業と魅力化事業を併せて「図書館カーニバル2023」と銘打ち、事業を途切れなく行うことにより、幅広い世代の方に参加していただき、図書館事業等に関心をもっていた多く機会を提供できた。



8月1日(火)より「図書館カーニバル2023」開始



11月23日(木) 記念講演

款 9 教育費	項 4 社会教育費	
	目 5 文化費	

## ①青少年劇場巡回公演委託事業

小学生及び中学生を対象に劇団等を招き、児童・生徒が持つ創造力や豊かな感性、情操等を養うため、生の優れた芸術を鑑賞する機会を提供した。県事業との調整が合わない場合は他の事業の情報提供を行った。

学校名	事業名	演目
大栄中	芸術鑑賞教室	能と狂言がわかる！はじめての日本の伝統文化教室
北条小	学校独自鑑賞事業	警察音楽隊公演会
大栄小	学校独自鑑賞事業	警察音楽隊公演会



【成果】 本物の芸術に触れる機会を提供したことにより芸術への関心を高めることができた。

能と狂言がわかる！はじめての日本の伝統文化教室

## ②北栄文化回廊事業

・北栄農村環境改善センターで開催される「北栄町美術展」の開催期間を軸に、北栄みらい伝承館、中央公民館に文化イベントを集結、様々な形で楽しみ回遊できる文化エリアを出現させ、「北栄文化」のイメージの浸透を図った。

・また、青山剛昌ふるさと館とも連動し、期間中、町全体で集中的に「北栄文化」の発信を行った。

メイン期間 令和5年11月3日(金・祝)～11月15日(水)

イベント名称等	場 所	人 数
北栄町美術展 (11/3～15)	北条農村環境改善センター	612人
特別企画展 北栄町の人物伝 (11/3～12/10) ～鳥取県中部地区教育の礎～ 正牆適處と研志塾展	北栄みらい伝承館	205人
正牆適處と研志塾展講演会 (11/11)	中央公民館	36人
お茶席(11/5)	北条支所内(北条ふるさとまつり)	122人
ものづくり体験(11/5)	北条支所内(北条ふるさとまつり)	30人
特別講演会(11/4)	中央公民館	59人
齋尾家住宅限定公開(11/12)	齋尾家	15人
生涯学習課関係 計		1,079人

※期間中来館者数

イベント名称等	場 所	人 数
青山剛昌名探偵コナン 特別原画展など	青山剛昌ふるさと館	6,680人
全体計		7,759人

※期間中来館者数



国登録有形文化財  
齋尾家住宅限定公開



お茶席

## 特別講演会



- 【成果】・複数の展示・イベントを集中的に行うことで多くの方に「北栄文化」を感じ取っていただく機会を提供するため、北条ふるさとまつりにあわせてお茶席やものづくり体験を実施した。お茶席では、吉田宗美社中・子ども北栄塾茶道教室のみなさんがお点前を披露し、茶道という日本文化を経験してもらう機会となった。
- ・鳥取県立美術館館長予定者である尾崎信一郎氏に「鳥取県立美術館で前田寛治をいかに展示するか」と題した特別講演会を開催し、講演を通して芸術に触れる機会を提供できた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費
		目	6 文化財保護対策費

## ①文化財保護対策事業

本町の文化財保護行政を円滑に推進するため、文化財に対する啓発や調査研究を行うとともに町内に存在する指定文化財等の維持、管理及び埋蔵文化財試掘調査を行い、文化財保護と開発事業との調整を図った。また、国登録有形文化財の齋尾家住宅の限定公開を実施することにより、貴重な文化財を身近に感じられる機会を提供する。

- ・文化財保護委員会の開催 3回
- ・齋尾家住宅限定公開 2回 11月・3月
- ・指定文化財等の保護、管理報償 国指定3件 県指定12件 町指定22件
- ・歴史探訪ウオークの開催
- ・国特別天然記念物「コウノトリ・オオサンショウウオ」の保護
- ・各種開発事業との調整

- 【成果】・町内の各種文化財に関して、その保管・活用方針への助言等を基に内容を精査した。
- ・町内には多くの文化財が存在し、それぞれについて情報収集を行い、また関係各所への情報提供などを行なった。
- ・国登録有形文化財であった齋尾家住宅が、その貴重さが認められ、令和6年1月に県指定保護文化財に指定された。
- 齋尾家住宅の限定公開を実施し、貴重な文化財を見学することにより、町の文化財に対する関心が深まった。
- ・歴史探訪ウオークでは、東園・瀬戸・六尾周辺コースで田熊常吉や武信家、六尾反射炉などの解説を行い、健康づくりにあわせ、町内の歴史や偉人を身近に感じてもらうことができた。
- ・必要に応じ、文化財やそれに付随する施設等の維持管理を行い、文化財保護に対する意識の啓発に努めた。
- ・特別天然記念物コウノトリが昨年に引き続き北栄町内で営巣したため、今後の生息調査のため、2羽のヒナに足環を装着するとともに、今後安全に営巣できるようにするため、巢塔の建設を行った。

## ②由良台場・六尾反射炉発信、連携事業

六尾反射炉跡の今後の調査のため、世界遺産登録されている韮山反射炉(静岡県伊豆の国市)之視察を行い、反射炉の構造について見識を深めた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	
		目	7 歴史民俗資料館費	

## ①歴史民俗資料館管理事業

歴史民俗資料館を円滑に運営するため適切な管理を行うとともに、地域に埋もれた貴重な資料の収集保存に努め、保管資料の整理と展示活動等を通じて文化財の活用を図った。

【成果】 資料館の適切な管理、保存資料の再整理を行なうことで、資料を活用した展示をすることができた。

## ②歴史民俗資料館展示事業(下表参照)

・歴史民俗資料館運営委員会の開催 2回

【入館実績】

期間	開館日数	事業内容	入館者数
4/1~4/9	8	【令和4年度】北栄町の埴輪	171人
4/22~5/28	32	越野邦夫 回顧展	505人
6/10~7/23	38	大栄すいか	428人
8/5~8/27	20	最新版！レッドデータブックとっとり	440人
9/9~10/15	32	福新幸世 書展	391人
11/3~12/10	34	特別企画展「正埴適處と研志塾」	414人
12/23~2/18	45	昔の生活道具～養蚕に使用された道具を中心に～	187人
3/2~3/31(4/7)	25	発掘された人骨からわかること	110人
		企画展小計	2,475人
4/1~3/31	75	生田和孝・加藤廉兵衛・福本和夫常設展のみ	242人

※3/6まで(4日間)の入館者数

総入館者数 3,043人

	R3	R4	R5
入館者数(人)	3,022	3,043	3,043

【成果】 各種展示を通じて県内・町内の歴史や文化等について触れたり、考えたり、楽しむ機会を提供できた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	
		目	8 民芸実習館費	

## ①民芸実習館費事業

多くの町民が陶芸や油絵などの文化的創作活動が安心・安全、かつ、充実したものとなるよう施設の管理運営に努めた。

〔利用実績〕

	R3	R4	R5
開館日数	155日	199日	187日
利用者数	1,543人	1,851人	1,725人



陶芸教室

【成果】 利用者が安心して活動できるよう適切な修繕等維持管理を行った。陶芸教室や木竹教室、水墨画教室、木版画教室を開催し、文化教室への新規加入促進と施設の有効活用を図った。また、絵画教室等サークル活動の拠点として施設の活用を図ることができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費
		目	9 町内遺跡発掘調査費

## ①町内遺跡発掘調査事業

六尾反射炉跡の調査及び北条川河川改修・県道上井北条線改良工事に伴う試掘調査を実施。  
(国庫補助事業)

・場所 北栄町六尾、北尾

・状況 ・六尾反射炉跡:令和2・4年度で確認された水車を設置していたと考えられる大規模な水路跡の深さ、構造を確認した。  
・北尾地区:開発工事に伴う試掘調査を実施し、北尾地区にトレンチを2本設定し、遺構・遺物の有無を確認した。

【成果】 六尾反射炉跡については、現地説明会を実施し、地域の方に郷土の歴史を改めて知ってもらう機会となった。

款	9 教育費	項	5 保健体育費
		目	1 保健体育総務費

## ①保健体育総務事業

北栄町スポーツ推進委員(24人)

地域の団体等に対するニュースポーツの指導、町社会体育事業への運営協力等を通して、生涯スポーツを推進した。

《主な活動内容》

協議会開催 4回

訪問型ニュースポーツ体験事業 11回

(地域の団体等に対するニュースポーツの指導)

体力測定・ミニ体力測定の実施 8月26日ほか計4回

北栄町駅伝競走大会の運営協力 11月19日

元旦マラソン&ウオーキング大会 1月1日

東伯郡スポーツ推進委員連絡協議会研修会 ほか

ニュースポーツ体験教室 12月10日・2月4日(2グループ)

北栄町スポーツ表彰

本町のスポーツ・レクリエーションの発展のため、功績があった者並びに優秀な成績を取めた選手及び団体を表彰する。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため事前に参加者の確認調整を行い、大栄農村環境改善センターで、221名の表彰式を開催した。

・体育功労賞2人、優秀指導者賞4人、スポーツ特別賞1人、スポーツ最優秀賞8人、スポーツ優秀賞22人、スポーツ敢闘賞132人、スポーツ奨励賞52人

【成果】 生涯スポーツの普及と社会体育振興の取組みにより、町民の体力向上と健康増進につながった。

## ②保健体育総務関係負担金事業

社会体育に関する協議会等への負担金

- ・郡体育協会負担金
- ・県スポーツ推進委員協議会負担金
- ・郡スポーツ推進委員連絡協議会負担金 ほか

【成果】 関係機関との連携を図り、関係機関が実施する各種事業により、社会体育の振興につながった。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	
		目	2 保健体育振興費	

## ①保健体育振興事業

北栄町スポーツ県外派遣費補助金

県、または県中部の代表として県外のスポーツ大会に出場する町内の小中学生に対し、参加に要する経費の一部を補助した。

利用実績:22件 2件申請予定(R4:12件)

【成果】 中国、全国規模の大会に出場する者に補助することにより、町民のスポーツ競技力の向上につながった。

## ②北栄スポーツクラブ事業

一般財団法人北栄スポーツクラブに指定管理者として町内社会体育施設の管理を委託するとともに、主な社会体育事業の実施を補助事業として行っていただき、総合型地域スポーツクラブの振興を図っている。

補助事業

各種スポーツ大会、スポーツ少年団、スポーツグランプリ表彰ほか

指定管理施設

北条体育館・大栄体育館・大誠体育館・北条ふれあい会館・大栄ふれあい会館・北条野球場・大栄野球場・北条運動場・大栄運動場

年度	R3	R4	R5	
全施設延べ利用人数	81,463人	161,283人	150,435	(※一部学校利用は年度末に合算)
スポーツクラブ会員数	1,250人	1,215人	1,211人	R5は2月末現在

【成果】 総合型地域スポーツクラブである北栄スポーツクラブの会員は1,200人を超えているが、近年は概ね横ばいとなっている。北栄スポーツクラブが実施する「健康運動教室」は利用者も多く、高い評価を得ている。

北栄スポーツクラブを核として、町民が生涯を通じて豊かで活力ある生活を営むため「だれでも・いつでも・どこでも」気軽に楽しめる生涯スポーツ及び競技スポーツの推進につながった。

## ③ウォーキングのまち北栄町推進事業

年齢、体力にかかわらず気軽に取り組むことのできるウォーキングを実施した。  
北栄でくてくウォーキング 3回 参加者延べ169人(R4:197人)

【成果】 日常生活の中でウォーキング機会の提供とともに運動習慣の定着につながった。

## ④訪問型ニュースポーツ体験事業

参加者の希望する身近な場所にスポーツ推進委員が出向き、参加者の希望する種目を指導することによりレクリエーション的な感覚で楽しみながら、ニュースポーツを体験し、運動に親しむきっかけとした。

年度	R3	R4	R5
回数	5	4	11
訪問した委員	15人	11人	35人

【成果】 地域の皆さんにスポーツ推進委員指導によるニュースポーツを体験していただき、生涯スポーツ人口増の取り組みを低年齢層から広げることができた。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	
		目	3 すいか・ながいも健康マラソン大会費	

## ①すいか・ながいも健康マラソン大会事業

2023大会  
参加申込者数 4,046人

年度	R3	R4	R5
参加申込者	3,675	3,093	4,046

【成果】 4年ぶりの現地開催となり、大会を開催した。全42都府県から参加いただき、本町の文化・産業・農業を幅広くPRし、魅力ある町づくりを推進することができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	
		目	1 人権推進費	

## ①人権対策関係負担金事業

県人権文化センター負担金  
東伯郡同和対策協議会負担金  
部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会負担金  
とっとり被害者支援センター負担金

【成果】 関係団体の活動を通じて、人権対策事業の進展に資した。

## ②人権啓発活動事業

小学校に花の苗・プランター等を贈呈し、児童が花を育てる中で、命を大切に思いやりや協力する心を育むことを目的として「人権の花運動」を行った。  
また、人権啓発用ワッペン・リボンをこども園・保育所(園)、小・中学校等に配布・着用した。  
なお、12月9日(土)に「北栄町じんけんフェスティバル2023」を開催した。

## 〔人権の花運動〕

期 日 10月12日、10月24日  
場 所 北条小学校、大栄小学校  
内 容 花の苗を贈呈  
参加人数 小学校児童32人、人権擁護委員5人



人権の花運動

【成果】 命を大切にし、人を大切にする心を育てることに寄与できた。

## 〔北栄町じんけんフェスティバル2023〕

期 日 12月9日(土)  
場 所 大栄農村環境改善センター  
内 容 演題:「アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)に気づき、  
コミュニケーションエラーを防止しよう!」  
講師:鎌田 敏氏(こころ元気研究所所長)  
参加人数 211人

【成果】 人権を学ぶ会との連携でテーマを統一し、年間を通して啓発ができた。参加者アンケートでは「講演会を聞いて、自分自身の中にアンコンシャスバイアスがたくさんあることに気づかされた」、「いろいろな人権に関する問題について自分のこと、身近なこととして考える機会となった」等の感想が寄せられ、93.2%の方が人権についての関心や理解が深まったと回答した。

## (今年度の主な大会派遣)

大会名	開催場所	参加者数
部落解放・人権政策確立要求中央集会	東京都	1人
部落解放・人権西日本夏期講座	愛媛県	2人
人権尊重社会実現鳥取県研究集会	米子市	38人
全国高校生集会	滋賀県	不参加
部落解放研究全国集会	和歌山県	1人
全国人権・同和教育研究大会	大阪府ほか	6人
全国人権保育研究集会	奈良県	2人
人権啓発研究集会	京都府	3人

機関紙「北栄町人権教育・啓発推進協議会だより」を3回発行。(8月、12月、2月発行)

【成果】 町内の各種団体等で構成される北栄町人権教育・啓発推進協議会に事業を委託することにより、人権啓発を広範に進めることができた。

## ③人権擁護委員事業

地域において人権思想を広めるとともに、人権擁護のための相談を行った。また、倉吉人権擁護委員協議会に対し負担金を交付し、活動を支援した。

人権擁護委員 6人

(主な活動内容)

- ・特設人権相談(町内月1回)
- ・街頭啓発活動(人権擁護委員の日・人権週間)
- ・事業所訪問(人権週間) ※町内24事業所

倉吉人権擁護委員協議会負担金

倉吉人権擁護委員協議会県連合会負担金



街頭啓発

【成果】 地域住民に対し人権思想の普及と人権相談による人権擁護に資することができた。

款	9	教育費	項	6	人権推進費
			目	2	隣保館運営費

## ①隣保館管理運営事業

町全体を対象とした人権啓発のための情報発信、住民交流の場として、各種相談事業や人権課題解決のための各種事業を行い、福祉の向上にもつなげる取り組みをした。

【成果】 人権啓発講演会「分かりやすいじんけんの話」により人権に関する認識を深めたり、教養・文化教室やおしゃべりサロンの開催等により地域住民相互の交流・理解を図ることができた。

事業名		R3	R4	R5
事業	隣保館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
	人権保育・教育担当者会	2回	3回	3回
	人権啓発講演会(分かりやすい人権の話)	6回	6回	6回
	同和問題研修(現地研修含)	3回	6回	6回
	習字教室	20回	24回	24回
	絵本の読み聞かせ	9回	7回	12回
	おしゃべりサロン	10回	9回	12回
	ほくほくパソコンネット講座	8回	—	—
相談件数	49件	56件	88件	
施設利用者数	3,311人	2,852人	2,664人	

## ②部落解放中学3年生交流参加負担金事業

1日開催で北条中3人・大栄中3人の参加。部落問題について学びを深めること

## ③隣保館関係負担金事業

鳥取県隣保館連絡協議会負担金

【成果】 関係団体の活動及び連携を通じて事業運営の充実と人権啓発の進展を図ることができた。

## ④隣保館運営審議会(児童館運営委員会も兼ねる)の開催

隣保館運営審議会兼児童館運営委員会 2回

【成果】 「ほくほくプラザ(北栄人権文化センター)」の事業実施状況や事業計画などを説明し意見を伺うことによって事業実施の参考とすることができた。

款	9	教育費	項	6	人権推進費
			目	3	児童館運営費

## ①児童館管理運営事業

児童に健全で安全な遊びの場と体験事業を提供し、健康の増進と情操を豊かにするとともに、地域組織活動の支援を行った。

主な事業等	R3	R4	R5
児童厚生員	3人	3人	3人
児童館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
体験教室(自然体験含)	6回	7回	10回
料理教室	—	—	—
創作教室	2回	3回	2回
科学実験	1回	1回	1回
工作・木工教室	1回	3回	3回
お魚教室	1回	1回	1回
ほくほく食堂	1回	1回	3回
職場訪問	1回	3回	3回
長期連携行事(もち米作り)	1回	—	—
異文化を学ぶ(ハロウィン)	1回	—	—
海岸清掃 SDGs	1回	1回	1回
解放子ども会の集い	中止	中止	中止
施設利用者数	7,475人	8,225人	6,765人

【成果】 遊びと体験を通じて、児童の健全育成・資質向上に貢献した。

## ②児童館関係負担金事業

全国児童館連合会負担金  
鳥取県児童館連絡協議会負担金

【成果】 関係団体の活動と連携を通じて、児童館活動の質的向上を図ることができた。

款	9	教育費	項	6	人権推進費
			目	4	人権教育費

## ①人権を学ぶ会事業

自治会単位で人権研修を開催。様々な人権問題や地域の課題について地域住民と一緒に考え認識を深めた。また、円滑な会運営を行うために推進協力員並びに地区推進員を対象に事前協議・総括・研修等を行った。

## ・人権を学ぶ会

項 目		R3	R4	R5
人権を学ぶ会(自治会対象)	実施回数	30回	37回	52回
	延参加者	431人	591人	818人
人権を学ぶ会(高齢者対象)	実施回数	0回	2回	1回
	延参加者	0人	29人	11人

## ・各種会議並びに研修会

項 目		R3	R4	R5
人権教育推進協力員会議	実施回数	3回	3回	3回
	延参加者	57人	46人	39人
人権教育地区推進員会議	実施回数	2回	2回	2回
	延参加者	151人	149人	147人

【成果】 身近に暮らす地域住民が人権問題等を共通認識することにより、一人では踏み出しにくい「人権尊重の行動」につなげることができる。

## ②人権学習会事業

小・中学生の希望者を対象に人権学習を開催し、人権に関する知識や認識を広げたり深めたりした。

項 目		R3	R4	R5
小学生人権学習会	実施回数	19回	21回	17回
	延参加者	352人	266人	90人
中学生人権学習会	実施回数	44回	38回	25回
	延参加者	129人	95人	77人

【成果】 お互いを大切にする気持ちや、真実を自分で調べることによって、しっかりした自分の考えを持ち、差別や偏見をなくしていこうとする意識や態度を育むことができた。

## ③人権教育推進員設置事業

人権教育推進員(1人)を配置し、町民や町内事業所等に対して人権研修の計画作成支援や講師を務めた。

項 目		R3	R4	R5
人権教育事業所研修 (人権教育推進員)	実施回数	5回	6回	3回
	延参加者	141人	156人	68人
人権教育事業所研修 (事業所自主研修)	実施回数	0回	5回	5回
	延参加者	0人	112人	113人
人権教育職員研修 (北栄町役場)	実施回数	6回	5回	5回
	延参加者	284人	276人	262人

【成果】 各所における人権研修の実施をしやすくし、多くの人の研修参加を通して人権尊重のまちづくりを推進することができた。

## ④鳥取県人権教育推進協議会負担金事業

鳥取県人権教育推進協議会に対し、市町村負担金を交付し活動を支援した。

【成果】 鳥取県人権教育推進協議会等が主催する「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」の運営が円滑に行われ、この集会に参加することにより町民はもとより、県民全体の人権意識高揚につなげることができた。